

NISSAY IT REPORT



大規模パッケージ切替えプロジェクトの成功ポイント
～証券管理パッケージ（NIT-XNET Plus+）の導入～



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

2025.2

はじめに

当社の資産運用ソリューション事業部では、2024年10月に機関投資家向け有価証券管理パッケージソリューションであるNIT-XNET Plus+をニッセイ・ウェルス生命様に導入しました。当社は、ニッセイ・ウェルス生命様と一体となったプロジェクト推進により、品質課題なくスケジュールどおりにプロジェクトを完遂しました。

本レポートでは、大規模パッケージの導入・切替えプロジェクトを成功に導くためのポイントを当プロジェクトの事例を交えてご紹介します。

プロジェクト概要、導入背景

ニッセイ・ウェルス生命様で利用していた旧システムは海外パッケージということもあり、利用コストが年々増加する点や、仕様のブラックボックス化による障害対応の長期化、ノウハウの空洞化などの課題がありました。将来的な資産運用業務の高度化も見据え、長年にわたり大手生損保のパッケージや保守開発を提供している当社をパッケージ切替え先に選定いただきました。

当該プロジェクトは他社パッケージからの切替えのため、まったく異なるシステム（業務）思想のデータ管理体系や業務機能からの変化が大きなポイントでした。特にデータ移行や業務機能のFit&Gap分析が重要であり、現行業務に慣れているユーザー様の心理的ハードルをクリアしていくことも重要でした。

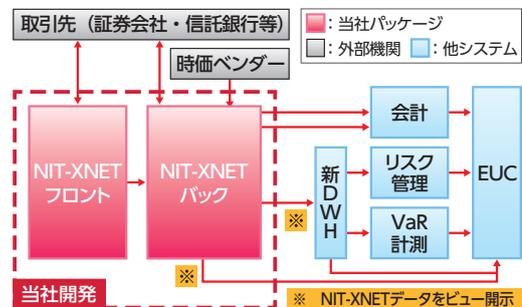


図1：当プロジェクト システム鳥観図

プロジェクト成功のポイント

ポイント1：プロジェクト憲章によるパッケージ導入方針の共有

プロジェクト開始にあたり、ニッセイ・ウェルス生命様のプロジェクトオーナーよりプロジェクト憲章の形で、以下の方針を宣言いただきました。

“NIT-XNET標準機能をベースに業務要件を定義、業務フローを見直すことでカスタマイズ対応の最小化を図る（最少コストで最大の効果を目指す）”【プロジェクト憲章より抜粋】

この宣言で関係者全体での意識統一が図れたことにより以下の効果がありました。

①要件定義や変更管理運営における合意形成の円滑化

通常、FIT&GAP分析や検証を進めるなかでエンドユーザーは現行業務踏襲の方向で考えることが多くなりますが、各部門リーダーの方々とは“どのようにパッケージに業務を合わせるか”という軸からブレずに、明確な判断基準と円滑な合意形成を図れました。また、エンドユーザーからは標準仕様や導入他社事例について質問いただく機会が多く、プロジェクト全体で新パッケージ導入という目的に進んでいく雰囲気が醸成されました。

②カスタマイズ要件の絞り込みによるユーザー作業の負荷軽減

必須となる要件のみをカスタマイズ対象とすることで、パッケージ導入の要件定義/設計/検証のユーザー作業負荷が軽減され業務マニュアル作成などのタスクに集中いただけました。

ポイント2：ユーザー受け入れ検証（UAT）の工夫

ユーザーは現行業務と並行でのプロジェクト参画となるため、プロジェクト対応の時間は限られてしまう傾向にあります。特にUATはユーザーメインの工程のため十分な検証や習熟に向けて当社もサポートを強化しました。

①ユーザーのシステム習熟とシステム品質向上に向けた取組み

プレUATとして、UAT開始前に検証できる環境を開放し、早期に端末操作やEUC開発を可能にしました。UATでは日次業務や決算業務のケース検証を複数回実施したうえで、現行本番と日々比較検証する並行稼働検証も行いました。加えて、複数回のデータ移行リハーサルで十分な検証を行ったことにより、ユーザーのシステム習熟とシステム品質の向上が図れました。

②オンサイトサポートの実施

UATフェーズではお客様のユーザー部門のオフィスに当社メンバーが駐在し、ユーザーの方々からの各種照会に対面で対応しました。検証時の不明点など些細なことでもその場で会話することで、電話やメールでの問い合わせ負荷だけでなく、問い合わせ自体への心理的なハードルも軽減されたと考えます。移行データやEUC開発におけるデータ定義の照会においても活用いただき、移行作業の品質向上にも大きく寄与しました。カットオーバー後の保守運用も見据えたユーザーとの良好な関係構築も行えたと考えています。

お客様の声



ニッセイ・ウェルス生命保険株式会社 資金証券部 担当部長
石田 悠人氏（当プロジェクト ユーザー PM）コメント

当プロジェクトは10数年振りの運用システムの切替えとして社内で注目されておりました。プロジェクト名称は「NIT-XNET導入」ではありますが、一連の関連システムも開発対象でした。要件定義フェーズで決めきることやパッケージ標準に合わせるポリシーは勿論でしたが、特に後工程にならざるを得ないEUCは、要件やScopeが変更される部分も相当量ありました。UATを通じてNIT-XNETへの理解を深められたことや、開発サイドとユーザーの相互理解、NISSAY ITを始めとしたベンダー様の協力もあって、結果として妥当な開発内容に落ち着き、予定どおりの着地を迎えられました。

次世代版ソリューション「NIT-XNET Plus+」の特徴

当社の有価証券管理パッケージ「NIT-XNET」の次世代版ソリューションとして、約20年ぶりに大きくリニューアルしました。

ポイント：画面一新で業務効率UP！

- ・ 処理ステータス、バッチ起動画面などを同時に表示可能
- ・ 1度のログインで全資産利用可能
- ・ ダッシュボード機能で複数担当者の処理実行状況を確認可能

ポイント：システム構造を見直し！

- ・ パッケージ機能開発の期間短縮
- ・ 帳票をPDF形式で出力
- ・ 最新ブラウザ、パブリッククラウド対応などのシステム環境モダナイズ

例) ダッシュボード機能

処理ステータス表示画面にて、
処理状況（残高作成、簿内仕訳、時価受信時刻、
評価処理、簿外仕訳、勘定残高作成等）を一覧化



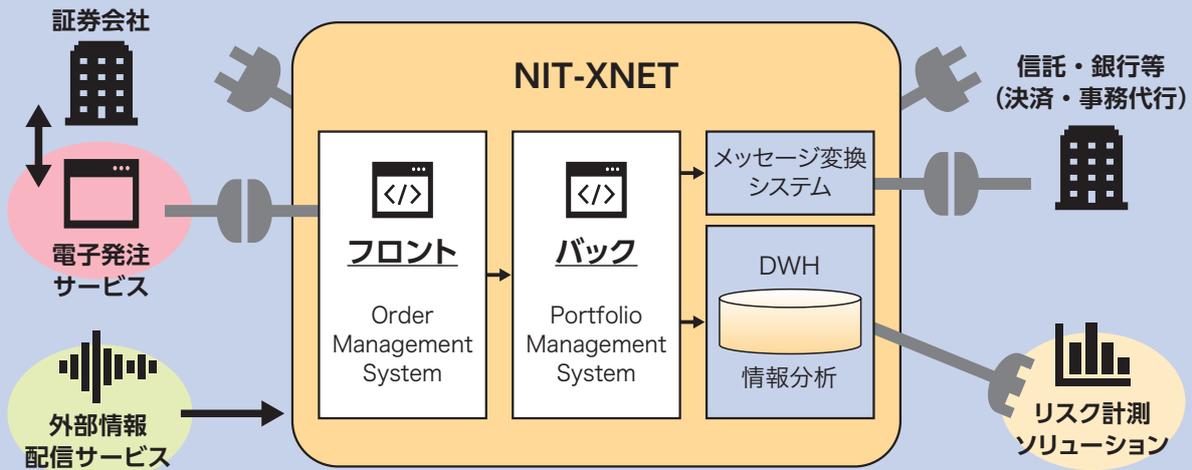
図2：画面サンプル

おわりに

当社のNIT-XNETサービスはこれからも有価証券運用管理業務の業界共通プラットフォームとしての役割を担い、業務効率化へ寄与するとともに、業界共通サービスとして利用いただけるように進化を続けていきます。

有価証券管理業務におけるご不明、お困りのことがありましたらご連絡ください。

有価証券運用管理ソリューションの全体像



執筆者のご紹介



澤田 和哉

ジェネラルマネジャー

年金システム開発を13年経験。経営企画部にて経営計画・広報業務などを担当。現在は資産運用領域にて主に証券領域（NIT-XNET）の開発責任者として複数のプロジェクトを担当。



桐山 俊英

プロジェクトマネジャー

資産運用領域にて生保/損保/共済様向けの有価証券フロントシステム（NIT-XNET）の導入や保守開発を担当。現在はバックシステム領域も含めたNIT-XNETソリューションのPM業務に従事。

お問い合わせ先 資産運用ソリューション事業部

TEL : 03-5714-5301

E-mail : info@nissay-it.co.jp



ニッセイ情報テクノロジー株式会社

〒144-8721 東京都大田区蒲田5丁目37番1号 ニッセイアロマスクエア

<https://www.nissay-it.co.jp>

※本文中に掲載されている商品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。
All Rights reserved, Copyright©2025 Nissay Information Technology Co., Ltd.

(本誌記事の無断転載・コピーを禁じます)
2025年2月発行 NIT2024-156(資001)01

